

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和6年2月7日(水)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO34

校長 月原 浩

令和5年度 CS春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

～対話しよう～



令和5年度も大詰めをむかえ、学年のまとめや次年度の準備をはじめて
います。来年度の天神山小学校の重点目標も考えているところです。

～「仲間」とつくる素敵な1日～は、本年度、児童をはじめ、皆様にも
かなり浸透し、わかりやすい行動目標なので来年度もいかすことができ
ばと考えています。「気づき・考え・行動」は、素敵な1日をつくるために
やるべき事でこの目標の中に含まれるとし、来年度は～対話しよう～とい
う事を大切にしていければと考えています。

これは天小の課題から考えました。学習面では、自分の考え・思いを表
現することに大きな課題があります。本年度後期頑張ることの1つに学習
のまとめを自分で書くということを掲げました。先生方も意識し、随分よ
くなったと思います。その前段階の交流活動をさらに充実させたいと思っ
ています。出し合いの活動にとどまらず、目的をもって自分の考えを分か
りやすく表現し、聴き手は共感しながら聴き、その人や作者、登場人物
の「**本当の思いや願い**」を共有できる交流活動にできればと考えていま
す。

さらにこれは私を含め職員や親の課題です。教育界では「生徒指導提
要」というものが12年ぶりに改定になりました。全ての児童に対し、「**発
達支持的生徒指導**」を行っていきましょうとうたっているのが特徴です。

生徒指導と聞くと皆様は問題が起こったら指導されるという対処療法的
な事をイメージされると思います。生徒指導の目標は実は「**自己指導能力
の育成**」であり本来は予防的な意味合いが強いものなのです。だから
生徒指導という言葉でなく「**生徒支援**」という言葉に変えて欲しいくら
いです。

人が何か行動を起こした時、上の氷山の様に目に見えている部分はほん
の一部です。その行動をとった感情や思考は目に見えません。友だちを
叩いてしまった子ども。その一面だけを切り取って怒っても解決しま
せん。その子に寄り添い、共感し、対話をし、思いを共有していく必要
があります。「どうした?」「悔しかったんだね」「～な言葉を言って欲
しくなかったんだね」「本当は、どうしたかったの?」などと対話をし
、子どもの奥底にある「**本当の思い・願い**」を引き出していけたらと思
っています。

それが改訂された生徒指導提要在求めている「**発達支持的生徒指導**」
になり、子どもに「**自己指導能力**」をつけることにつながると私は信じて
います。